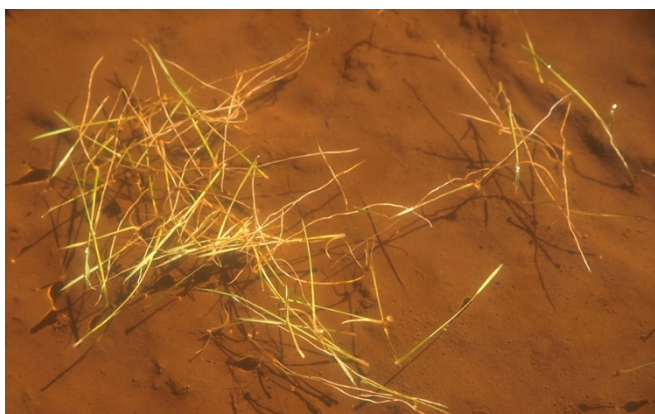


水稻(湛水直播、乾田直播)



主な加害種:カルガモ、キジバト、スズメ、カラス

水稻を直播すると、湛水ではカルガモ、乾田ではキジバト、スズメ、カラス類の被害にあいやすい。一方、収穫期にはスズメの被害が顕著である。スズメの被害の場合、播種期にはもみ殻や芽が、収穫期にはもみ殻が地面に散らばるので判別できる。



加害種:カルガモ

網室内でのカルガモ放飼実験時の写真。芽と根は残し、もみ部分を食べる。カラスも芽と根は残し、もみ部分を食べるので区別に注意。カラスは日中、カルガモは主に夜間に食害する。

撮影: 吉田



カルガモ

判定理由: 柔らかい田面には水かきのある足跡が残る。

撮影: 吉田



加害種:キジバト

網室内でのキジバト放飼実験時の写真。キジバトは種もみを掘り出し、芽と根も含めて丸ごと飲み込む。生長して飲み込みにくい苗は、写真のように掘り出して放置する。写真の左右両端には未食害の苗が見える。なお、スズメの食害の場合は、むいたもみ殻が散らばる。

撮影: 吉田